

研究テーマ 適切な自然資源管理法制

所属 学術研究部社会科学系（経済学部）

教授 神山智美

研究の背景及び目的

「環境法が環境たるゆえんは、自然環境がかかわるからである」と私は考えています。人間と人間の関係のみならず、そこに自然というものが介在するがゆえに、人間と自然との関係、自然を介した人間と人間との関係、および自然を媒介とした人間と自然との関係の検討が必要となるからです。それらを検討する部分が、他の行政法とは異なると捉えており、こうした自然資源管理の法制度という領域を研究しています。



■ おもな研究内容

業績:

神山智美「変わる土地法制と『最適土地利用対策』について — 合意形成、土地権利、所有権放棄、ICTの利用等に関する法的問題の検討」 4月 2023, In: 自治総研. 535, pp. 1-37(招待有) 学術論文

神山智美「『海岸』と海岸法を考える—防災と生態系保全の観点から」
3月 2023, In: 法学論集(権田和雄先生ご退職記念号). 29(1・2), pp. 61-104 (招待有)学術論文

Taking/Compensations or Regulations? Balancing Landscape Conservation and the Development of Renewable Energy Facilities in Japan
Kohyama, S., 1月 2023, In: Land. 12, 1, 51.研究成果: ジャーナルへの寄稿 > 総説 > 査読

神山智美「パットの多頭飼育(パピーミル・大型繁殖業者)規制および個体識別推進に係る一考察—米国法比較による検討」3月 2022, In: 法学ジャーナル(明治学院大学大学院法学研究科). 33, pp. 1-92 92 p. >査読

神山智美「民事基本法制の改正と山林所有」2022, In: 山林(大日本山林会). 1653, pp. 2-10 (招待有)学術論文

神山智美「野外レクリエーションを支える米国の自然アクセス制に関する一考察」
3月 2022, In: 企業法学研究. 10(1), pp. 17-32 32 p.研究成果: ジャーナルへの寄稿 > 学術論文 > 査読

神山智美『自然環境法を学ぶ』(文眞堂、2018)

その他:

2017年9月～環境省委託調査「諸外国における環境法制に共通的に存在する基本問題の収集分析業務」委員(自然資源関連)を毎年受託

2023年7月～ 東京都自然環境保全審議会委員

2016年3月～ 日本生態学会(自然保護専門委員会:専門委員(環境法)、専門委員会監事 2020年4月～

期待される効果・応用分野

下述「おもな研究内容」をご参照のこと。

■ 共同研究・特許など

研究分野	環境行政法
キーワード	自然資源管理、野生動物、自然環境保全、生物多様性、自然資本

研究室URL : <https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/satomi-kohyama>